

平成18年12月4日

第21回茨城県実業団テニストーナメントA大会本戦開催要項

茨城県テニス協会
実業団委員会

標記大会を下記要領で行ないますのでお知らせ致します。

主催 茨城県テニス協会
後援 茨城新聞
協賛 (株)ダンロップスポーツ

- 日時： 第1日 男子（1、2回戦） H19年 3月11日（日）14面
集合：8：30分、開会式：8：45分、試合開始：9：00
第2日 男子（3回戦、準決勝、決勝、3決）、女子：全試合
H19年 3月17日（土）、14面、試合開始：9：00
予備日 H19年 3月18日（日）
- 場所： 笠松総合運動公園テニスコート （ハードコート）
- 試合方法： 男女共、ダブルス1、シングルス2とし、重複出場は認めない。
B大会との重複出場は認めない。
第1回戦（1回戦がパイの場合は2回戦）のみ全試合を行ない、それ以降の試合は勝敗決定後の試合を打ち切る。
試合進行上必要な場合は、第1回戦であっても勝敗決定後打ち切りとする場合がある。
試合順は原則としてD、S1、S2とする。メンバーは1名欠けた場合、S2を不戦とする。2名以上の欠員はその対抗は負けとなる。
勝敗決定後は、両チームの合意のもとに選手を変更し、試合をすることができる。
Sは、実力順に選手を選出するものとする（IBTAポイント順）。
各試合共8ゲーム、ノーアドバンテージとし、8-8で7ポイントのタイブレーク方式とする。
但し、雨天の場合は試合方式を変更することがある。
審判は、セルフジャッジとする。
コール後、15分以上遅刻したチームは、失格とする
- 出場資格： 茨城県テニス協会に登録した実業団チームとする。
ドローサイズは参加申し込みチーム数により定める。支部予選は実施しない。
チーム構成は、個人にあっては、当該団体に所属し、茨城県テニス協会に登録をしている者とする。
選手登録は、参加申し込み時に提出のこと。登録選手の変更は、大会初日の初対戦前までに、1名に限り、登録人数の枠内で、認める。
本大会に出場する選手のオーダーは試合開始10分前迄に提出すること。
その他、詳細は茨城県実業団テニストーナメントA大会出場資格参照のこと。
参加費等：参加各チーム、5000円、平成19年1月22日(月)までに出場チーム毎に、選手名簿（代表者名、連絡先、メールアドレス記入）と共に下記申込み先に申し込むこと。
期日までに選手名簿の提出のなかったチームはスポーツ障害保険適用除外となります。
2月4日（日）にドロー会議を行います。
申し込み先住所：〒314-0005 鹿嶋市高天原1-6-19-2 宗形 信二
（メール可：rokkouta@ybb.ne.jp）
参加費は、下記口座に振り込んで下さい。チーム名を記入のこと。
領収書は試合当日に会場でお渡しします。
名義人：茨城県テニス協会 実業団 委員長 宗形信二
常陽銀行 鹿島支店 普通口座 店番036 口座番号 1681918
試合球は各チーム、持参のこと（ダンロップフォートイエロー 6個）
- チーム編成： 男女共に、部長、監督、マネージャー各1名、選手4名以上9名以内でチームを編成する。男女共、選手が部長、監督、マネージャーを兼務できる。
- コートレフリー及び運営委員：
運営委員長：宗形 信二（住友金属鹿島）
コートレフリー：伊藤 昭仁（茨城県テニス協会 審判部会委員） 予定
運営委員： 富田真智子（日立市消防本部）、原田 健一（日立佐和）
渡部麻美（茨城県庁）、加藤仁志（キャノン）、根岸秀世（JAXAつくば宇宙センター）
樋口武史（日立建機）、加治芳行（原科研）
- 服装： Tシャツは不可。
- その他： 一度、提出したオーダーは変更できない。
オーダー交換時に全選手が揃っていないとよい。
ルールはJTAルールにもとづく。
男女共、優勝チームは関東大会に出場する権利を得る。
天候により試合進行を早める場合がありますのでご協力をお願いします。

第21回茨城県実業団テニストーナメントA大会出場資格

平成18年12月4日

茨城県テニス協会

実業団委員会

- 1 平成19年2月1日現在出場する会社または団体の社員
(嘱託を含む。但し、雇用契約のある者)に限る。
アマチュアの外国籍選手およびプロフェッショナル
(国籍を問わずJTA競技者規定により登録済みの選手)
も含む。又、実業団の子会社(親会社が資本金の20%以上出資していること)
から親会社に出向している社員も選手として出場することができる。
 - 2 学生、パート、講師は出場資格を与えない。
 - 3 同一会社または団体であれば関東地区内の他の事業所と合同でチームを
編成することができる(補強)。
但し、実業団団体戦で他県にエントリーした選手は除く。
 - 4 アマチュアの外国籍選手およびプロフェッショナル(国籍を問わない)の扱い
それぞれ、1対抗につき2ポイント(2組み)のみ出場できる。
3年以上日本に在住する外国籍選手については出場制限を設けない。
 - 5 茨城県テニス協会に登録しているチームおよび選手。
 - 6 茨城県実業団テニストーナメントB大会との重複出場は認めない。
 - 7 前年度日本リーグに出場した選手は出場できない。但し、前年出場したチームの一員として、
当年の日本リーグに出場しない旨宣言した場合を除く。
 - 8 男女共に、部長、監督、マネージャー各1名、選手4名以上9名以内でチームを編成する。
 - 9 男女共、選手が部長、監督、マネージャーを兼務できる。
- # 上記1～7項に違反した事が判明した場合、そのチームは当該年度の実業団大会出場資格を失う。
大会中、チームの対戦が終了した後に判明した場合は、その対戦は終了したものとし、以後、
失格する。関東大会への出場権を得た場合も失格とし、次順位のチームを繰り上げる。

以上